

誤嚥とは？ 加齢による嚥下機能の変化について

誤嚥とは、口から食道に入るべき唾液や食物が気管に入ってしまうことをいいます。

誤嚥を引き起こす原因として、加齢による嚥下機能の低下、脳血管障害や神経疾患などの疾患による影響、服用薬剤の影響などがあげられます。

加齢に伴って、噛むことを含め、食べること、飲み込むことに必要な筋力は衰えてきます。全身の筋力の低下は実感しやすいのですが、口腔と摂食嚥下機能の衰えについては気づきにくく、放置してしまうことがあります。誤嚥予防のためには、加齢による嚥下機能への影響を考え、誤嚥予防行動に結びつけることが大切なのです。

【注意したい誤嚥の症状】

- ・ 食べるとむせる
- ・ 食べ物が飲み込みづらい、口の中に食べ物が残る
- ・ 食べ物が喉につかえる
- ・ 食事に時間がかかる
- ・ 食後に咳がでる、痰がでる など

当てはまる症状があったら、早めに専門機関を受診してください。

【広報出版委員会 記】

